



**制作実行委員 明間翼**

制作実行委員長として巡視しながら、制作活動を見てすごいなと思ったことが2つあります。  
 1つ目は、感染対策をしっかりとしながら描いていたことです。例えば、教室の換気をしっかりとしたり、お互いに距離をとって描いたりしていました。昨年よりも感染状況が悪くなっている中でしたが、感染対策を徹底している点がさすがだと思います。  
 2つ目は、絵のクオリティーです。各連合のモチーフになっているものを引き出す背景を使っていたり、色の濃淡を上手く使って描いていました。各連合ともに美しく、迫力のある絵を描いてすごいなと思いました。制作係は感染対策をしながら、しかも限られた時間の中で絵を描くということだったので、すごく大変だったと思いますが、1人1人が協力しながら絵を完成させていたのすごいなと思いました。

**種目実行委員長 伊藤美姫**

昨年までの飛翔祭とは違い、多くのことが変わった飛翔祭でしたが、どの連合の人たちも正々堂々と競技に挑んでいる姿は、とても見応えがある飛翔祭でした。  
 今回の飛翔祭では、全校種目などの競技の運営を行う予定でしたが、全校種目がなくなり、種目実行委員として準備してきた活躍の場面がなくなってしまいました。しかし、当日までのアナウンス、リーダー会議の司会など、先生方が与えてくださった機会と、精一杯頑張ることができました。私は、他学年を支える立場として、他学年と生徒と協力して仕事に取り組みることができました。例年とは違う飛翔祭でしたが、たくさんの方の協力のもと実施できたと思います。私は最後の飛翔祭でしたが、3年間で一番思い出に残る飛翔祭でした。それぞれが飛翔祭で学んだ経験を、輝騰祭や学校生活に活かして、残りの半年間もこれまで以上に充実したものにできるように頑張りたいです。

地域の魅力情報を発信!!

# 読売コミュニティ

地域特別版

天下無双 ~75年で最も暑い夏~

## 飛翔祭開催!

新潟市立内野中学校体育祭が9月9日(木)、9月10日(金)に行われました。今年度のスローガン「天下無双~75年で最も暑い夏~」で創立75年目にふさわしい堂々とした体育祭になりました。この夏、新型コロナの爆発的な感染拡大により、昨年度よりもさらに厳しい制限が課せられました。その中で、教育目標「自主」「他敬」「自愛」「創造」の姿を体現し、日程や内容を大きく変更しての実施となりましたが、3年生を中心とした活動を通じて『暑い夏』を生徒全員が体感しました。生徒の皆さんは先生に感謝をし、先生は熱く盛り上がる体育祭、生徒の成長に感動された2日間になりました。また、無観客での実施のため、配信で観覧した保護者にもその気持ちは伝わったことでしょう。内野中学校の先生、生徒の皆が更に1つになった2日間を是非ご覧ください。

新潟県北部読売会

2021.10  
 発行/新潟県北部読売会  
 〒950-0943  
 新潟市中央区女池神明3-8-3  
 TEL.025-285-4570  
 配布地域/新潟市・三条市・燕市・加茂市・新発田市・胎内市・阿賀野市・佐渡市・北蒲原郡(聖籠町)・南蒲原郡(田上町)





# 進撃の 玉入れ

意外とムズかしい。。

多く入ったのは...?

みんな入れろー!

Yeah~♪

Fight!!

Nice!

バトンうまく  
受け取れた!

みんな  
頑張れ!!

Good!!

## 実行委員長 須田千尋

今年もたくさんの制約がある中での飛翔祭でした。応援団のみなさんは、コロナ禍でも飛翔祭が盛り上がるように工夫してくれました。実行委員は、目立つ仕事ではありませんが、準備から当日までの運営を行ってくれました。制作係のみなさんは、クオリティーの高い迫力のある応援旗を描いてくれました。ダンス係のみなさんは、短時間のうちにアレンジダンスを仕上げてくださいました。競技係のみなさんは、リレーの走順など、勝つための作戦を考えてくれました。種目運営委員のみなさんは、スムーズに道具の準備を行って、競技も滞りなく実施できました。先生方は、飛翔祭が安全に開催できるようにたくさん考えてくださいました。1日目の午前中は、応援席に水溜まりができていましたが、教育実習生の方が排水作業をしてくださりました。私は、飛翔祭がたくさんの方々を支えていることを改めて実感しました。実行委員長として、中学校生活最後の飛翔祭に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。

## 副実行委員長 若杉乙華

今年もコロナウイルスの影響で、初めての2日間開催での飛翔祭でしたね。私は今から飛翔祭当日のことについてお話しします。飛翔祭当日、私は時々全体を見ていました。するとみなさんは、きちんと感染対策を行って来ていました。当日はとても暑かったのにもかかわらず、マスクを外さず、外してもしゃべらないという光景が見られました。時々密だったときには、幹部を中心に注意して、さすがリーダーだなと感じました。声を出さず中でしたが、動きだけで応援する姿から、各連合の団結力が伝わってきました。全校のみなさんが、感染対策をきちんと守ってくれたおかげで、無事に飛翔祭を終えることができました。全校のみなさんが楽しそうに活躍する姿を見ることができて、副実行委員長としてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

## 式典実行委員長 土屋夕菜

私は飛翔祭を通して「団結」について深く学ぶことができました。式典実行委員では主に開閉式・閉閉式の運営をしました。開閉式では、飛翔祭がスタートする直前、本部にいる先生方が、コロナ禍での飛翔祭2日間を成功させようとして「がんばりましょう」と声をかけ合っていました。また、一人の内野中生徒としても、応援合戦や種目など、それぞれのチーム連合で「団結」している姿を見ることができました。今回の飛翔祭では、コロナウイルスという壁に、全校や連合、先生方が団結し、様々な案を練って成功した75年で最も熱い夏だったと思います。この活動をいろいろな所で活かしていきたいです。

## 応援実行委員長 梨本愁侑

僕が飛翔祭実行委員を経験して感じたことは、コロナウイルスによる様々な制限がある中でも、みんなが思いきり飛翔祭を楽しむために、応援リーダーや応援団をはじめ、全校生徒が様々な協力をしてきたということです。例えば、応援リーダーの指示や呼びかけに対して声ではなく拍手で返事をし、練習の合間の休憩の時には生徒同士が対面になったり密にならないよう互いに呼びかける、練習中はマスクを着用する、練習後には手洗いや消毒をする、このような協力があったからこそ、飛翔祭を開催でき、しかも今年の飛翔祭が熱く盛り上がるものになったと思います。1・2年生の皆さん、この経験を活かし、リーダーシップを発揮して、来年の飛翔祭をもっと盛り上げてください。